

令和5年度  
事業計画及び収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

## 目 次

活動方針	.....	1
事業体系	.....	9
事業計画書	.....	13
補助事業等事業一覧表	.....	25
収支予算書	.....	27
収支予算内訳書	.....	33
(参考) 収支予算書 (資金ベース)	.....	37

**令和5年度  
公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針**



## 令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成24年(2012)公益財団法人へ移行)され、「丹波の森宣言」(昭和63年9月)に基づき、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立4施設(丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、今後の30年を見据えた方向性「丹波の森づくりのこれから」を示しました。

また、「丹波の森づくり」の推進の原動力となり、その礎を築かれた河合雅雄先生が取り組まれた丹波の森大学、縄文の森塾、ウィーン国際交流のシンボル事業でもあるオオムラサキの保護増殖等、当協会の主要事業として展開し、さらに充実した取り組みを進めます。

令和4年度は、まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中ですが、感染対策を徹底し、計画した事業はほぼ実施することができました。

丹波地域では、豊かな自然環境や森のスローライフなどの生活スタイルに欠くことができない地域特性を有し、新型コロナと共存することとなる今後の社会にとって、最も適応した地域とされ、田園回帰など移住者の増加につながっています。

令和3年度に丹波県民局が実施したアンケート調査において、丹波地域で30年以上にわたり取り組んできた「丹波の森づくり」の理念や活動に対する認知度が3割未満であることがわかりました。

このような状況の中、理事会でも、地域の皆さんへの「丹波の森づくり」に関する理念が十分に伝えられていないことなどから、理事及び市県担当職員、丹波の森研究所研究員で構成する「丹波の森」を考える小委員会を設置し、ワークショップや議論を重ねています。

### 1 (公財)兵庫丹波の森協会の施策推進について(課題を踏まえて)

#### 1) 課題等

理事会や小委員会の中で、次の通り当面の課題を整理します。

##### ① 丹波の森づくり(理念の浸透)

「丹波の森づくり=丹波の地域づくり」の理念を地域の皆さんに浸透させること、あわせて、地域へ浸透させる役割を担う兵庫丹波の森協会や県・市職員が、理念を学び返すことが重要であること

##### ② 兵庫丹波の森協会・2市・県民局の連携強化

丹波の森づくりを効果的に事業推進するためには、今以上に、兵庫丹波の森協会、市、県の連携が重要であることから、それぞれの役割を明確にすること。

った時代から、2市になり多くのNPO法人など民間中間支援組織や地域で積極的に活動する人が生まれるなど社会環境が変わる中で、協会のあり方や取り組みの整理が必要になっていること

#### ④協会・2市・県民局の連携強化

丹波の森づくりを効果的に事業推進するためには、今以上に、協会、市、県の連携が重要であることから、それぞれの役割を明確にすること。

#### ⑤丹波の森づくり（人材づくり）

丹波の森に関わる人材づくりのため、森づくりに関わる人をつなぎ、新たにかかわる人材を育成する、また、中間支援組織（民間）との連携、子どもから高齢者まで切れ目のない人材育成すること。

#### ⑥丹波の森研究所

研究テーマや研究に向けた取り組みに対し、2市との連携を深めるとともに、2市にある中間支援組織との連携を深めること。

#### ⑦4指定管理施設の取り組み

協会が管理運営する意義を考え、丹波の森づくりの拠点であることから、理念に沿った取り組みを進め、さらに4施設の連携を深めて、直接、地域住民や参加者に丹波の森づくりを伝えるとともに、将来の指定管理者の公募に向けた強みを作り出すこと。

#### ⑧計画の修正や成果指標

丹波の森づくりを計画的に進めていく中で、定期的に計画を検証する。目標を設定し、成果を評価する仕組みをつくること

## 2) 課題等に対する令和5年度の取り組み

### ①「アクションプラン」づくり

小委員会や市・県・協会の議論を深め、「丹波の森宣言・丹波の森構想」の理念を実現するための「アクションプラン」を協議し、理事会に対して、経過を随時報告するとともに、アクションプランを決定します。

#### ・小委員会

協会理事、市県担当者、丹波の森研究所研究員で構成する「丹波の森」を考える小委員会で、30年記念に整理された「丹波の森づくりの取組の方向（提言）」及び「丹波2050地域ビジョン」を踏まえつつ、理念を実現する「アクションプラン」について協議・検討します。

小委員会のメンバーに加え、現在丹波地域で活動している人や団体、過去に丹波の森構想に取り組んできた研究員など、様々な方々に意見を聞く場も設定します。

#### ・市、県、協会協議

アクションプランは、市、県、協会で策定を進めるものであり、ともにプランづくりに取り組むとともに、小委員会にかかる基礎資料の整理や提供、市民を巻き込む方策について検討します。

#### ・地域住民への周知

関係者だけで構想やアクションプランをつくるのではなく、その過程も含め、地域住民を巻き込みながら、策定を進める。具体的な住民の巻き込み方

については、市とともに検討していきます。

## ②継続した取組の中での丹波の森づくり（理念の浸透）

- ・子どもから高齢者まで、切れ目なく「丹波の森づくり」を学べるよう取り組みます。
- ・丹波の森づくりを周知する広報誌（市広報誌への掲載を含む）の作成、地域住民への理念の浸透とともに、協会の取り組みを周知します。
- ・4施設連携の一環として、各施設のプログラムやイベント情報を掲載した広報誌の作成を検討します。
- ・協会（4施設含む）が実施するプログラムやイベント開催時において、丹波の森づくりにかかる理念の浸透を図ります。

## ③協会・2市・県民局の連携強化

- ・定期的な市・県政策部門との会議開催（推進連絡会）
- ・分野ごと、事業ごとに、協会（研究所含む）と市関係部門との連携
- ・協議を進めることで、それぞれの役割を明確にし、一体的に丹波の森づくりを推進します。
- ・地域住民への理念浸透に対し、重要な役割を担う市及び協会職員が丹波の森づくりを学ぶ場を作ります。
- ・丹波の森研究所は、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、市県と地域とともに考える地域伴走型支援を行います。

## ④丹波の森づくり（人材づくり）

- ・子どもから高齢者まで、切れ目のない学びや体験が提供できるよう、講習や講座、プログラムなど、取り組みや事業の整理を行います。
- ・丹波の森大学では、だれもが参加しやすい環境の整備（開催曜日や時間、回数、市との連携開催など）検討するとともに、丹波の森づくりの理念を広く浸透させます。あわせて、学びを深化させるため、ワークショップ形式（ゼミ方式）を一部取り入れます。
- ・丹波の森大学を市と連携して取り組むことにより、より深く丹波の森づくりを地域に浸透させます。

## ⑤民間組織や人との連携強化

- ・神戸大学丹波篠山フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織との情報共有を図り、それぞれと連携し、効率的・効果的な丹波の森づくりを推進します。

## ⑥4指定管理施設の運営

- ・協会が指定管理者である強みをさらに深めるため、丹波の森づくりを基軸とした施設運営に努める。地域住民や参加者に直接伝える取り組みを推進します。
- ・3施設は、令和5年度は、現指定管理期間の最終年度であり、同時に次期指定管理に向け取り組む年度です。引き続き指定管理者に選定されるよう、充実したプログラム作りに取り組みます。

- ・2025年の「大阪・関西万博」に向け、4つの施設や丹波の森の魅力を国内外アピールできるよう、4施設が連携したフィールドパビリオンとして魅力あるプログラムの提供に取り組みます。

指定管理施設の在り方については、現時点では不透明な部分もありますが、丹波の森構想、丹波の森宣言を推進する中心である「公益財団法人兵庫丹波の森協会」の目指す方向性は、明確であり、丹波の森づくりを広く地域住民に浸透させ、丹波の森づくりに関わる人材を育成・確保することが重要です。

これらの取り組みは、協会だけでなく、協会を設立した2市と県とともに、連携を深め、継続して職員意識の向上を図ることは不可欠です。

今後さらに議論を深め、丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波地域の森づくりを推進します。

最後に、財政上の課題として、県補助金である地域振興事業補助金の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、協会の収入確保は厳しい状況にあります。

令和5年度においては、事業の見直しや拡充などを進めるとともに、丹波の森づくり基金の計画的な活用を検討します。

## 2 部門・施設ごとの主な取り組み方向

### 【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

#### 1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進
- (3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

#### 2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

#### 3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。



## 1) 協会事務局

### ・丹波の森宣言及び森構想に即した「アクションプランづくり」

丹波の森を考える小委員会や市・県との協議の場を設け、「アクションプラン」等づくりに取り組みます

### ・市、県との連携強化

丹波の森構想推進連絡会（協会と市政策部門の会議）を定期的開催し、理念推進に向け、連携を図るとともに、役割、職員意識の向上を図っていくとともに、具体的な取り組みに繋げていきます。

### ・指定管理の継続に向けて

3施設が、令和5年度で指定管理期間が終了する。次期指定管理に向け、情報の収集を図り、丹波の森づくりの拠点として、継続して指定管理が受けられるよう取り組みます。

### ・丹波の森大学（丹波の森研究所とともに）

若い年代を含め、広い世代が丹波の森づくりを学べる環境づくりを進めるとともに、丹波の森づくりに関わる人材の育成を進めます。

あわせて、市及び協会職員の研修の場として位置づけ、丹波の森づくりの推進する人材、意識向上を図っていきます。

### ・ウィーン市13区ヒーティングとの都市間友好親善提携の締結

丹波篠山市、丹波市とウィーン市13区の新たな都市間友好親善提携に向け、2市と連携しながら令和5年度内の締結を目指します。

友好親善訪問やオオムラサキを通じた交流とともに、WEBなどを活用した新たな交流を検討していきます。

## 2) 丹波の森研究所

### ・「アクションプラン」づくり

令和5年度の重点的な取り組みとして、丹波の森を考える小委員会や市・県との連携会議をコーディネートし、アクションプラン（案）等の作成に取り組みます。

### ・市、県との連携

市とともに調査研究のあり方を検討し、政策部門のみならず、調査研究に係る部門と今以上に連携を深め、情報を収集し、情報と課題を共有する中心的な役割を担うとともに、今後の研究テーマを検討します。

### ・地域伴走型シンクタンク活動の強化

市、県との連携を図るとともに、地域活性化や地域固有の課題についても地域住民とともに考え、課題解決に向けた支援を行います。

また、神戸大学丹波篠山フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織や地区のまちづくり協議会や自治協議会との連携協働を図り、課題解決に向けた支援を行います。

### ・生物多様性の保全創生

丹波地域の自然、生活、文化の継承と再生を図るための重要な基盤となる生物多様性について、丹波の森公苑の里山エリア等を中心に保全創生に関わる実践的な取り組みを行い、定期的な情報発信を行います。

- ・連携による研究所のサポート体制の強化

人と自然の博物館や森林動物研究センターなどの研究機関との連携強化、市民・企業・大学からの研究員参加など研究所のサポート体制の多角化・強化を図ります。

### 3) 丹波の森公苑

- ・丹波の森づくりの理念の浸透と人材づくり（担い手の育成）

自然体験学習、里山の整備、芸術文化の振興などの各種事業を継続展開し、各事業ごとに丹波の森づくりに関する考え方を説明し理解を進めるとともに、事業での取組や体験が地域で実践されるよう丹波の森づくりの担い手育成に繋がります。

- ・施設の利用促進

令和3～4年度のホール天井耐震化、各施設の修繕、アトリエ棟・テニスコートの改修など、大規模な改修工事完了の機を捉え、今後のさらなる利用促進に向けたリニューアルオープン記念事業を実施します。

- ・人と自然が共生する丹波の森づくりの推進

丹波の森公苑の里山を活用し、森づくり講座の開催や里山ボランティアとの協力を通じて里山林の利活用を考える機会を提供するとともに、それに携わる人材を育成します。また、「丹波縄文の森塾」、「里山の秋の実り体験」、「国蝶オオムラサキの舞う里山づくり」等により自然体験学習の場を提供し、森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進します。

- ・多様なライフスタイルを創造するための活動支援

丹波地域の生活創造活動グループの活動を支援するとともに、「丹波OB大学・丹波OB大学大学院」、「講座丹波学」の開設等により生涯学習と交流の機会を提供し、地域づくりに参画する人材養成に取り組みます。また、「丹波の森子どもミュージカル体験塾」の開催等により子どもたちの感性や表現力を磨き、芸術を創造する楽しさを体験する機会を提供し、明日を担う丹波っ子を育成します。

- ・丹波が誇れる芸術文化の振興

「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会」のコンサート開催等を支援し、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、地域内外の交流を促進します。また、丹波地域の文化協会・広域文化団体で組織する「丹波文化団体協議会」の芸術文化活動を支援するとともに、丹波の森公苑のホールや展示ギャラリー施設を最大限活用し、芸術文化の振興を図ります。

### 4) 丹波年輪の里

- ・木工クラフトや木育を通じた丹波の森づくりの普及と人材づくり

木工クラフトを体験することで自然の恵みを感じ、木育を通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めることで、丹波の森づくりにかかる人材を育成します。

- ・カルチャー・スポーツ・レクリエーションの促進

労政福祉課のCSR施設としてゴールデンウィークフェスタ、心を届けるたんば絵てがみコンクール、グラウンドゴルフ大会など魅力ある事業の展開や、活動団体を支援することにより、県民の憩いの場を提供します。

- ・丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動の普及促進

丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）やアートクラフトフェスティバル、座っ展、ウッドワーカーズクラフトなど、木とのふれあいを通じた芸術文化活動を振興する事業を進めます。

- ・遊びを通して木のぬくもりや良さを伝える木育活動の推進

五感を通じて木の良さや温もり、優しさを感じられるよう、幼児を対象として県下の認定こども園等への木のおもちゃの貸出しやワークショップを実施します。

## 5) ささやまの森公園

- ・自然の恵み「森の活力」を体験することで丹波の森づくりの大切さを知る

255haの樹林が育む「森の活力」を体験し、「里山の美しさ」「森の創造力」を実感することで、丹波の森づくりに共感する森人を育成します。

- ・森づくりを愛する森人を育てる

プログラムのほとんどはボランティア”活動スタッフ”の手により企画、運営されています。このボランティア活動を推し進めながら、丹波の森づくりに直接かかわる森人を育成します。

- ・縄文の知恵を今に伝える里山文化の記録と保存

里山に伝わる有形・無形の文化財を「守り、伝えて」、新時代に求められる新たな知恵を「創造」します。

- ・感動の森の創造

来園者の方々が「来てよかった」、「また来たい」と言ってもらえる公園づくりに努めます。

## 6) 丹波並木道中央公園

- ・数多い若い世代の来園者と地場産材を加工できる製材設備を活用した丹波の森づくり広く普及する

都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の都市公園。子育て世代を中心に若い世代の利用が多く、さらに4施設の中で唯一製材施設を有している公園。幅広い世代へ丹波の森づくりを伝えることに取り組みます。

- ・公園の資源を活用した公園運営に取り組む。

公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が丹波の森を感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組みます。

- ・多様な世代が楽しめる公園運営に取り組む。

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」を広くPRし、多様な世代が楽しめる公園運営に取り組みます。



## 令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

### I 公益目的事業会計

#### 公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

##### (1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設
- イ ウィーンの森友好親善交流事業
- ウ 丹波の森研究所
- エ 地域づくり支援事業
  - ・ 地域づくり支援事業
  - ・ 花と緑の地域づくり事業
  - ・ 丹波の里山づくり発信事業
- オ 花づくり活動支援事業
- カ 丹波の森フェスティバルの開催
- キ 丹波年輪の里事業
- ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波並木道中央公園】

##### (2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

- ア 丹波地域生物多様性保全事業
- イ 丹波の森公苑里山事業
- ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業
- エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

##### (3) 公1 共通経費

- ア 施設運営・管理

【全施設】

#### 公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

##### (1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 講座「丹波学」の開設
- エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入 【全施設】
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 【県立丹波年輪の里】
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちや展）の開催 【県立丹波年輪の里】
- ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 座っ展 -丹波で坐る木の椅子- 【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等 【全施設】
- イ 運営委員会の開催 【全施設】
- ウ 市・県との連携強化

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

## 2 その他事業会計

### (1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

イ 音楽活動団体等への支援

## Ⅲ 法人会計

【全施設】

### 1 法人会計

ア 協会維持運営

イ 「丹波の森宣言・丹波の森構想」の「アクションプラン」づくり

ウ 市・県との連携強化

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。





# 令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画書

## I 公益目的事業会計

### 公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森づくり＝丹波の地域づくり」を実践するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第33期のテーマ 「森のデザイン」をテーマとして、空間デザインや生活デザインの視点から丹波地域の将来像を一緒に考える。 ○ともに考える丹波の森大学 誰もが知識を得る講座方式とともに、講師とともに考える「ゼミ」方式の講座を新たに取り組む。（「丹波の森づくり＝丹波の森づくり」に関わるプレーヤーを育成） ○両市との連携 公開講座などを通じて、両市と連携した講座を開催し、広く市民に丹波の森づくりを伝えるとともに、市職員・協会職員の研修の場とする。 ・テーマ：「森のデザイン」 ・実施時期：5月～令和6年1月 6回の講座と2回のゼミ 現地学習 ・場所：丹波の森公園、丹波篠山市立市民センター	【予算額】 1,516,000  【前年度予算額】 1,388,000
	イ ウィーンの森友好親善交流事業 (協会事務局)	ウィーン市は、市中央部を「ドナウ川」が流れ、市西部はウィーンの森として知られる森林地帯が広がり、ユネスコの世界遺産に登録された「ウィーン歴史地区」や国立歌劇場や博物館など、豊かな森、自然景観、文化や歴史が市民の生活の中に深く溶け込んでいます。 まさにこれは、丹波の森宣言、丹波の森構想で目指す「丹波の森」のモデルであり、今後市民を中心とした交流がさらに深めることにより、より魅力的な「丹波の森」づくりが進展させる。	○新たな都市間友好親善の提携 ・令和4年度にウィーン市13区ヒーツィングから、都市間友好親善提携について要請 ・令和4年12月の両市の議会に対し、都市間締結を説明。 ・両市で議会提案、友好親善提携30周年に向け、新たな締結を検討していく。 ・締結が確定した場合、補正予算等により提案 ○オオムラサキへの支援及び情報交換 国営オオムラサキをウィーン・シェーンブルン動物園で飼育・繁殖する支援事業を「兵庫丹波オオムラサキの会」の協力を得て、継続して実施する。今年度は、幼虫の提供方法の再検討とオオムラサキが成長するまでの飼育環境について助言と関連する調査研究を行う。 ○交流花壇設置支援事業 丹波の森・ウィーンの森提携20周年記念事業・友好親善提携訪問団メンバーにより設置した「シュベルト花壇」は、来苑者に当協会とウィーン市13区との交流を周知するものであることから、維持管理に係る資材等の支援を行う。	【予算額】 206,000  【前年度予算額】 207,000
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	丹波の森構想に基づく「人・自然・文化・産業の調和した地域づくり」(丹波の森づくり)を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言とともに、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、地域とともに考える地域伴走型支援を行う。	○丹波の森づくりの推進に向けた取り組み ①アクションプランづくり 丹波の森宣言及び丹波の森構想に即した「アクションプランづくり」をコーディネートし、プラン作成に取り組む。 ②市・県との連携 丹波篠山市、丹波市、丹波県民局と連携を深め、様々な情報を共有するとともに、今後の研究テーマを検討する。 ③民間支援組織との連携 神戸大学フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織との情報共有を図り、それぞれと連携し、効率的・効果的な丹波の森づくり事業の推進を行うことを目標として開催する。(年4回程度) ④丹波の森大学への支援 丹波の森研究所の取り組む調査研究課題と連携した内容で、年間のテーマ設定、講師選定、現地学習地の選出などの支援を行っている。	【予算額】 4,406,000  【前年度予算額】 6,035,000
エ 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業 (協会事務局)	地域づくりや地域固有の課題に対し、地域や市、県、中間支援組織等と連携しながら住民とともに考え、課題解決に向けた取り組みを支援する。	○地域づくりアドバイザーの派遣 ・地域づくりや地域の活性化などの取り組みを行っている地域や自治会等の団体の要請を受け、研究員を含むアドバイザーを派遣する。また、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。 (3箇所、年3回程度/箇所) ○地域づくりの情報収集	【予算額】 1,036,000  【前年度予算額】 1,124,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	・花と緑の地域づくり事業 (協会事務局)	美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動をいっそう推進するため、丹波の森公園などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。 また、個人の庭を広く一般に公開する社会活動として、「オープンガーデン」が開催される。花を愛する人が花を通してつながり、「人がつながる」「花がつながる」。そして交流が始まるという趣旨に賛同し、協会としても丹波の森公園に庭を作り、オープンガーデンに参加する。	○ミニガーデン(コンテナガーデン)の制作・展示 ・展示場所:丹波の森公園、丹波年輪の里、丹波並木道中央公園 ・実施期間:10月頃(予定) ・参加者:地域の住民団体、学校や企業の園芸クラブ等を対象に募集 ・規模:6庭程度 ○たんばオープンガーデンへの参加 丹波の森公園の庭を活用してオープンガーデンに参加し、花緑愛好家との交流を促進し、地域全体に美しいまちづくりを拡げる。 ・開催日:4月、5月の各1日	【予算額】 420,000 【前年度予算額】 364,000
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局)	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。	○丹波の里山づくり発信事業 ・モデルとなる里山を地域住民が自ら30年かけて整備し、その活かし方、楽しみ方を広く情報発信する。 ・モデルとなる里山活動10団体にアドバイザーを派遣し、活動を継続、イベント企画、行政担当部局との連携など、30年の森づくり活動を支援する。 ・アドバイザー会議の開催 会議において、支援要望団体等の活動状況や要望・課題を共有し、具体的支援方法を協議し、里山づくりアドバイザーの派遣調整や外部人材の派遣を行う。	予算額 2,750,000 【前年度予算額】 2,783,000 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託)
オ	花づくり活動支援事業 (丹波の森公園)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) 内 容:草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 講 師:県立フラワーセンターから派遣 日 程:5月～令和6年3月 (年6回:原則として奇数月に開催) 募集定員:70人 (午前・午後の部とも各35人) 受講料:16,000円(年間) ○花と緑の教室(自主活動グループ) 「花と緑の教室」で知識・技術を習得した者をリーダーに、地域単位で教室を開催 内 容:草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 日 程:5月～令和6年3月 (年6回:原則として奇数月に開催) 募集定員:4グループ・20人程度 受講料:14,600円(年間) ○園芸教室(応用創作講座) 内 容:モテ出展を目指し、鉢と草花の選び方から園芸に関する基本を学ぶとともに、教室で得た技術をブラッシュアップする。 講 師:但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 日 程:5月～令和6年3月(年7回) 募集定員:36人 受講料:7,000円	【予算額】 1,596,000 【前年度予算額】 1,251,000
カ	丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公園)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、丹波篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催 ・開催日:10月29日(日)予定 ・内容:ワークショップ、作品展示等	【予算額】 756,000 【前年度予算額】 593,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	キ 丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	<p>○工作室における木工クラフトの指導(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラフトメニューの見直し</li> <li>・特別教室の充実</li> </ul> <p>○ゴールデンウイークフェスタの開催</p> <p>4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回丹波ウッドワーカーズクラフト</li> <li>4月29日(土・祝)～30日(日)</li> <li>・フリーマーケット他</li> </ul> <p>○アトリエ作品展(5月)</p> <p>○芝生広場を活用するグラウンドゴルフ事業</p> <p>○第7回たんば絵てがみ展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般の部、高校生以下の部</li> </ul> <p>○木に関する情報を提供する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の普及振興事業(情報提供)</li> <li>木本市(5月、11月)イベントへの参加</li> <li>・木育活動(「木育キャラバン事業」の推進)</li> </ul>	<p>【予算額】</p> <p>2,949,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>2,949,000</p>
	ク 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	<p>「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。</p> <p>また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。</p>	<p>地域の専門家と共に「丹波の森」30年後の将来像づくりを先駆的に取り組むことを目指し、「丹波の森」管理モデルとなる森林管理、「森づかい」のための公園づくり、間伐材利用方策「木づかい」等の実践を行う。特に利用促進事業では、県立都市公園の推進する下記の施策テーマごとに各種事業に取り組む。</p> <p>○活力あふれる地域づくりに資する公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なみきみちまつりの企画実施</li> <li>・かやぶき民家と棚田を活用した「丹波の食をまるごと楽しむ」(赤米・黒豆の栽培、日本茶づくりなど)</li> <li>こころと身体のヘルシーパーク 他</li> </ul> <p>○子育てに資する公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なみきみちミニパークの設置(間伐材を使った遊具の更新、作成)</li> <li>・動く恐竜模型</li> <li>・大型複合遊具(恐竜遊具)</li> </ul> <p>○環境との共生に資する公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロエミッションを目指して!植物性廃棄物リサイクル事業(間伐材を使った木工ワークショップの開催)</li> <li>・花と緑を活かしたイベントの実施</li> </ul> <p>○安全安心な地域づくりに資する公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン・パークの企画実践</li> </ul> <p>○持続可能なパークマネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの設置</li> <li>・公園の新たなローカルルール検討・企画</li> <li>・たんばハブパーク(他公園、施設、行政との連携事業の実施)</li> <li>・公園広報誌「PARK LIFE」での情報発信</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の実験遊び場の設置</li> <li>・フォトジェニック・スポットの設置</li> <li>・おもいっきり!なみきみちキャンプ</li> <li>・なみきみちフェノロジーカレンダーの配布</li> </ul>	<p>【予算額】</p> <p>3,591,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>3,970,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	<p>○生物多様性保全に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性を自然保護団体や県・市の会議等において情報を発信し、地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。</li> <li>自然保護団体等が環境学習を行う場合に、生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援していく。</li> </ul> <p>○生物多様性保全の意識向上</p> <p>地域での実践活動が行えるよう、市民の意識を高め、市民・行政の取組を広げていく。</p> <p>○丹波の森公苑の自然環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫を中心とした調査スタッフの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に開催し、養成した子どもたちをスタッフとし、里山の植物・昆虫・野生動物を調査することにより、生物多様性の方向性を探ることを目的に、その調査スタッフを新たに養成するため、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもとにプログラムを開始する。</li> <li>故河合雅雄先生の少年時代のように、網と虫かごを持って森に入り、生態系や食物連鎖を目の当たりにすることにより、自然と生き物が共生しているシステム＝生物の多様性を身近に感じ、知る。</li> </ul> </li> <li>① 昆虫リーダー育成研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：7月15日(土)、8月26日(土)</li> <li>開催場所：丹波の森公苑</li> <li>対象者：子ども(小学4年生以上)と保護者(丹波篠山市・丹波市)</li> <li>定員：40名</li> </ul> </li> <li>② いどうこんちゅうかん <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：9月16日(土)～18日(月・祝)</li> <li>場所：丹波の森公苑展示ギャラリースペース</li> <li>対象者：幼児、小学生低学年</li> <li>定員：各日100名</li> <li>参加費：200円</li> </ul> </li> </ul>	<p>【予算額】</p> <p>343,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>204,000</p>
イ 丹波の森公苑里山事業 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。 また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	<p>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森づくり講座の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点とした研修の実施。</li> <li>(間伐編) 日程：6月～12月、6回開催 募集定員：5人</li> <li>(間伐材活用編) 日程：4月～10月、6回開催 募集定員：6人</li> </ul> </li> <li>併せて、里山整備相談事業を実施し、森づくりの取り組みをフォローする。</li> <li>里山及び環境学習体験フィールドの整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数22人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数14人程度)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。</li> </ul> </li> </ul> <p>○森づくり活動アドバイザーの設置</p> <p>緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。</p> <p>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり</p> <p>オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p>	<p>【予算額】</p> <p>648,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>648,000</p>	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験飼育展示</li> <li>・小学校等、地域での飼育指導 (17小学校等、2高校、15事業所)</li> <li>・第14回放蝶会：7月2日(日)</li> <li>・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施</li> </ul>	
	ウ 丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども対象プログラム               <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波縄文の森塾の開催 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察等 期 間：5月～令和6年3月(毎月1回) 募集定員：小学3年～6年生 30人 参加費：7,000円           キャンプ7,000円(別途)</li> </ul> </li> <li>○親子・家族対象プログラム               <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山ふれあいソウイング 日 程：4月29日(土・祝) 募集定員：30人 参加費：300円(小学生以上)</li> <li>・さわってみ丹波いきもの大集合 日 程：7月8日(土) 会 場：ゆめタウン丹波</li> <li>・国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し 日 程：令和6年3月 募集定員：30人</li> </ul> </li> <li>○リーダー養成プログラム 縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</li> <li>○環境学習支援プログラム               <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の秋の実り体験 期 間：9月～10月 参加者：丹波篠山市及び丹波市内の認定こども園児・小学生及び引率者等</li> </ul> </li> <li>・出前講座の実施</li> <li>・公苑における学習支援</li> </ul>	【予算額】 1,301,000  【前年度予算額】 1,434,000
		丹波 2050 地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんぼユース躍動プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	縄文の森ユース躍動プロジェクト事業 対象者：丹波地域の中・高校生等 実施場所：丹波の森公園 ○丹波地域の動物相の現状と共生方法を学ぶ ・丹波地域の動物相の現状と課題を学ぶ ・丹波の森公園の野生動物の生態、行動を学ぶ ・野生動物の捕獲体験、処理施設の見学、ジビエ料理の体験と試食 ○丹波地域の植物の現状と再生・活用方法を学ぶ ・丹波の森公園の植生の基礎調査の体験 ・野生動物の生息状況と下層植生との関係性 ・昆虫の捕獲体験、植物相と昆虫相との関係性 ○丹波の森公園における縄文里山づくり ・縄文里山の目標像と係わり方、楽しみ方の提案 ・縄文里山の整備構想案の検討 ・丹波縄文の森フェノロジーカレンダーの検討	【予算額】 2,061,000  【前年度予算額】 2,522,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・ウッドクラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	<p>○基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山体験班：草木染め、布スリッパ作り、しめ縄作り等</li> <li>・里山伝承班：黒豆栽培、そば道場、ちまき作り等</li> <li>・自然学習班：バードウォッチング、植物観察、ヒメボタルの観察等</li> <li>・レクリエーション班：深山登山、源流探検、木登り体験等</li> <li>・里山復元班：炭焼き体験、シイタケ作り、ベンチ作り等</li> </ul> <p>○特別プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山まつり、里山の日特別企画、里山コンサート、里山落語、講演会等</li> </ul> <p>○森の学校 (第16期生)</p> <p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体利用：草木染め、ウッドクラフト等</li> <li>・県立篠山東雲高等学校授業支援「里山文化」</li> </ul>	<p>【予算額】 6,066,000</p> <p>【前年度予算額】 15,025,000</p>
(3) 公1 共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	<p>【予算額】 167,930,000 (局) 4,484,000 (苑) 13,590,000 (輪) 89,033,000 (さ) 20,167,000 (並) 40,656,000</p> <p>【前年度予算額】 167,987,000</p>

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考	
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業 (消費生活を含む) (丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動コーナーの提供</li> <li>情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供</li> <li>生活創造活動グループサポート事業による丹波の森公苑内でのイベント等への支援(年12件)</li> </ul>	【予算額】 170,000 【前年度予算額】 153,000	
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活出前講座の実施(年20回程度)</li> <li>消費生活にゆーすの発行(年4回)</li> </ul>		
	イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑)	新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、統一的な基準により貸与する。		
		令和3～4年度のホール耐震化、各施設の修繕、アトリエ棟・テニスコートの改修など、大規模な改修工事完了の機を捉え、今後のさらなる利用促進に向けたリニューアルオープン記念事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程：5～7月(予定)</li> <li>場所：丹波の森公苑内各所(ホール・旧アトリエ・テニスコート)</li> <li>内容：①ホールを活用した記念コンサート(有名音楽家の招請)</li> <li>②新設コワーキングスペースの無料開放(キッチンを活用した地元産品のPRイベントなど)</li> <li>③(公財)日本テニス協会と連携したテニス教室(有名選手の招請)</li> </ul>	【予算額】 3,743,000 【前年度予算額】 0	
ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グラウンドゴルフ大会(4回予定)</li> <li>○イベント支援</li> <li>○特別工作教室の充実</li> <li>○アトリエサークル教室の充実と広報</li> <li>○緑の中のコンサート(2回予定)</li> </ul>	【予算額】 2,574,000 【前年度予算額】 2,574,000		
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学 4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 (丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、長寿社会を担う地域活動の実践者を養成することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【丹波OB大学】</li> <li>・学習年限：4年</li> <li>・募集定員：60人(新規受講生)</li> <li>・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座</li> <li>・開催時期：4月～令和6年3月までの18回</li> <li>・受講料：12,500円</li> <li>【丹波OB大学大学院】</li> <li>・学習年限：2年</li> <li>・募集定員：30人(新規受講生)</li> <li>・講座内容：教養講座・特別講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動</li> <li>・開催時期：4月～令和6年3月までの18回</li> <li>・受講料：12,500円</li> </ul>	【予算額】 2,487,000 【前年度予算額】 1,981,000	
		イ 兵庫県地域高齢者大学 地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設 (丹波の森公苑)			
	ウ 講座「丹波学」の開設 (丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル：「丹波武将と徳川家康～その時、家康は丹波に何をみたのか～」</li> <li>・日程：8月26日(土)～12月2日(土)の間、全5回</li> <li>・場所：丹波の森公苑ホール</li> <li>・募集定員：150人</li> <li>・受講料：6,000円</li> </ul>	【予算額】 900,000 【前年度予算額】 620,000	
	エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催 (丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程：9月21日(木)～22日(金)</li> <li>・場所：丹波の森公苑ホール等</li> <li>・内容：芸能発表・作品展</li> <li>・参加者数：延べ600人以上(丹波篠山市高齢者大学、丹波市高齢者学級、丹波OB大学・丹波OB大学大学院受講生)</li> </ul>	【予算額】 180,000 【前年度予算額】 180,000	
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。</li> <li>・トライやる・ウィーク(中学生)</li> <li>期間：未定</li> </ul>	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 1,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	【レッスン】 ・日 程：7月～10月までの15回 ・対 象 者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・指 導：劇団ウエスト ・受 講 料：6,000円  【発表公演】 ・日 程：10月15日(日) 2回公演 ・場 所：丹波の森公苑ホール ・演 目：未定 ・入 場 料：大人1,000円、高校生以下無料 ・来場者数：延べ700人以上	【予算額】 1,615,000  【前年度予算額】 1,728,000
	ウ 丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○語りベクラブの支援 語りベクラブ(丹波篠山市1団体、丹波市2団体)が、年間延べ140回にわたり丹波のむかしばなしを語り継ぐ活動を保育所、小学校、その他施設等で行っている。その活動を支援するとともに「むかしばなし」をホームページ等で全国に向けてPRする。 ・研修会の開催	【予算額】 131,000  【前年度予算額】 58,000
(4) 公2 共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 157,809,000  【前年度予算額】 197,700,000



公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催  【丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会】	国内外からアーティストを招へいし、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会が開催し、その事務局を(公財)兵庫丹波の森協会が担う。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しむ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の小・中・高・特別支援学校へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の開催 ・音楽関係部活動のための出前講座の実施等	○「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2023」の開催 ・テーマ:「シューベルトがつなぐウィーンと丹波」 ・開催期間:9月9日(土)~11月12日(日) ・オープニング・サロンコンサート 日 程:9月9日(土) 場 所:お菓子の里丹波ミオール館(丹波篠山市) 入場料:未定 ・ガラ・コンサート 日 程:11月12日(日) 場 所:丹波の森公苑ホール 入場料:未定 ・街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校程度) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高・特別支援学校4校) ○音楽関係部活動のための出前講座(2校) ○丹波地域中学校・高等学校音楽関係部活動支援 ○総参加者数:延べ2,500人以上	【予算額】 1,200,000 (局)400,000 (宛)800,000  【許渡予算額】 1,300,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業(丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	○スーパーキッズ・オーケストラ「クリスマスコンサート」の開催 ・日 程:12月23日(土)(予定) ・場 所:丹波の森公苑ホール ・内 容:スーパーキッズ・オーケストラ公演 ・入 場 料:大人1,500円、高校生以下無料 ・入場者数:600人以上	【予算額】 1,200,000  【許渡予算額】 994,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんば2023の開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○第32回アートクラフトフェスティバル in たんば2023 ・日 程:11月4日(土)~5日(日) ・出展予定者:180名	【予算額】 400,000  【許渡予算額】 400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	○第35回丹波の森ウッドクラフト展 ・全国公募:一般の部、ジュニアの部 ・作品展示: 一般の部 9月9日(土)~24日(日) ジュニアの部 10月14日(土)~29日(日) ・場 所:丹波年輪の里木の館ホール ・表彰式:10月29日(日)	【予算額】 900,000  【許渡予算額】 900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催(丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展(予定) ・日 程:①令和6年1月24日(水)~28日(日) ②令和6年2月3日(土)~9日(金) ・場 所:①丹波の森公苑多目的ルームほか ②丹波篠山市立四季の森生涯学習センター(予定) ○文化賞受賞者小品展 ・日 程:11月2日(木)~5日(日) ・場 所:丹波の森公苑多目的ルーム	【予算額】 120,000  【許渡予算額】 123,000
	エ 展示ギャラリーの開設(丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	○書、絵画、写真等の作品展示 ・利用件数:年間25回以上	【予算額】 30,000  【許渡予算額】 30,000
	オ 伝統文化活性化支援事業(丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承を図るため、民族芸能団体等に発表の機会を提供するとともに、子どもたちが伝統文化に親しみ、理解を深めることができるよう小学校において和楽器を体験・鑑賞できる機会を提供する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ※第12回丹波の森童謡唱歌の祭典の民俗芸能特別鑑賞部門に出演者を派遣 ・日 程:5月20日(土) ・場 所:丹波の森公苑ホール ・出 演:京都雅楽座丹波校 ○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・日 程:9月~令和5年1月の間(予定) ・場 所:丹波管内の小学校10校	【予算額】 200,000  【許渡予算額】 120,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	カ 座っ展-丹波で座る木の椅子- (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。 「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピールする。	「第10回座っ展-丹波で坐る木の椅子-」 【作品展示】 期間：4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝) 場所：丹波年輪の里木の館ホール 出展予定者：15名、約30脚	【予算額】 120,000 【前年度予算額】 120,000
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 35,342,000 【前年度予算額】 36,020,000

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、SNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域がつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報(年1回発行) ・HP等に掲載 ○協会ニュース2023 ・協会の取り組みとともに、丹波の森づくりの理念を伝える広報誌の発行 ・市と連携し、市広報紙を活用した丹波地域住民への周知を検討する。 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ○フェイスブック、Instagramによる情報発信 ・随時更新	【予算額】 1,737,000 (局) 997,000 (苑) 740,000 【前年度予算額】 1,726,000
		「ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム」を通じて、丹波地域の魅力を全国並びに世界に発信する。	○ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラムへの参画検討 ・大阪・関西万博開催に合わせて全県で展開される「ひょうごフィールドパビリオン」参画に向け検討を進める。	
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、丹波地域の住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議	【予算額】 370,000 (苑) 170,000 (輪) 30,000 (さ) 50,000 (並) 120,000 【前年度予算額】 288,000

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 飲み物の自販機設置 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園	【予算額】 7,305,000 (苑) 1,434,000 (輪) 5,620,000 (並) 251,000 【前年度予算額】 6,824,000

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の文化向上のための事業を実施 ・丹波文化活動交流会 ・丹波合唱祭 ・丹波地域文化フェスティバル ・夏休み子ども文化教室 等 ○芸術文化団体等への活動支援 ・日本の童謡・唱歌を広める会 ・丹波の森ふれあいステージ実行委員会	【予算額】 200,000  【前年度予算額】 154,000
	イ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行うことで、音楽関係団体の発展等に寄与する。	音楽活動振興助成実施要綱(ウチダシユウジ基金活用事業)に基づき、丹波の森公苑ホールを利用された丹波地域で音楽活動を行っている団体に助成金を交付	【予算額】 253,000  【前年度予算額】 0

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	【予算額】 13,867,000 (局) 13,234,000 (苑) 200,000 (輪) 164,000 (さ) 117,000 (並) 152,000  【前年度予算額】 13,509,000
	イ 「丹波の森宣言・丹波の森構想」の「アクションプラン」づくり (協会事務局)	「丹波の森宣言・丹波の森構想」を基本理念とし、実現するための「アクションプラン」づくり。	○「アクションプラン」づくり 「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を基本理念とし、30周年記念に整理された「丹波の森づくりの取組方向(提言)」や「丹波2050地域ビジョン」を踏まえつつ、今後どのように取り組むかの「アクションプラン」を作成する。 ・丹波の森を考える小委員会 ・丹波の森構想推進連絡会(市・県・協会) ・民間の中間支援組織との連携	
	ウ 市・県との連携強化 (協会事務局)	丹波の森構想、丹波の森宣言、丹波の森づくりの理念を広く情報発信し、「気づき・学び→体験・理解→地域で実践する」ため、その機会を積極的に提供していくため、協会・市・県が一体的に取り組む体制を強化する。	○協会・市・県等の連携強化 ・定期的な丹波の森構想推進連絡会の開催 構成：協会・丹波篠山市・丹波市・県民局 ・丹波の森研究所など取り組むテーマによって、2市担当部門との積極的な協議の場づくり ・丹波地域で活動する中間支援組織(民間)との連携を模索する。 ○職員が学び理解する場 ・丹波の森大学などを通じ、協会・市職員に対し、丹波の森づくりを学び理解する研修を実施。 ○「気づき・学び→体験・理解→地域で実践」 ・協会が取り組む事業を丹波の森づくりを实践する人づくりにつなげていく。 ○切れ目のない取り組み ・幼児から高齢者まで切れ目のない学びや気づき、体験や理解する場づくりを意識した取り組みを進める。	



令和5年度 補助事業等事業一覧表

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考	
県補助金等収入 県補助金収入	地域振興事業補助金	兵庫県	本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。	3,480	事務局	
	縄文の森ユース躍動プロジェクト事業	兵庫県	丹波新地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんば子ども王国プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	2,000	事務局	
	丹波の森公苑事業運営費	兵庫県	・県立丹波の森公苑の事業運営業務 ・施設における公演や展覧等の実施に際して、感染防止対策のガイドラインを踏まえた取組への支援を行う。またコロナ禍の「新たな活動」に必要な機材等の環境整備	3,683	森公苑	
	県有施設等燃料高騰対策事業補助金		兵庫県	県立丹波の森公苑の光熱水費の高騰に対する補助金	2,800	森公苑
				県立丹波年輪の里の光熱水費の高騰に対する補助金	500	年輪の里
	丹波年輪の里業務運営費	兵庫県	県立丹波年輪の里の事業運営業務を行う。	2,358	年輪の里	
	ささやまの森公園業務運営費	兵庫県	県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。	17,964	ささやまの森公園	
市補助金等収入 市負担・分担金収入	兵庫丹波の森協会負担金	丹波篠山市 丹波市	兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。	18,300	事務局	
	丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催負担金	丹波篠山市 丹波市	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学び合い交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	120	森公苑	
その他補助金等収入 その他負担・分担金収入	兵庫県文化賞受賞者小品展開催負担金	(公財)兵庫県 芸術文化協会	兵庫県文化賞受賞者小品展を丹波の森公苑で開催する。	30	森公苑	
その他補助金等収入 その他補助金収入	子どもゆめ基金助成金	独立行政法人 国立青少年教育 振興機構	子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。	280	事務局	

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県受託収入 指定管理料収入	県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	県立丹波の森公苑の管理運営業務を行う。	196,263	森公苑
	県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。	74,396	年輪の里
			県立丹波年輪の里の木の館ホール空調設備整備を行う。	12,771	
	県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。	7,285	ささやまの森公園
県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。	40,188	並木道中央公園	
県受託収入 その他受託収入	都市公園整備費	兵庫県	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。	1,000	並木道中央公園
市受託収入 その他受託収入	太古の生きもの館の施設管理	丹波篠山市	丹波篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。	150	並木道中央公園
その他受託収入	丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	認定したモデル団体10団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。	2,750	事務局
	統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)業務	公益財団法人全国公立文化施設協会	全国公立文化施設協会が行う文化芸術振興費補助事業「統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)」に参加し、公立文化施設・文化芸術団体と連携し、地域の文化芸術の振興に資する事業を実施する。	500	森公苑
	ひょうご森づくりサポートセンター事業木育活動実施支援業務	兵庫県木材業協同組合連合会	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。	990	年輪の里

387,808

## 収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,350,000	1,350,000	0
基本財産受取利息	1,350,000	1,350,000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
森づくり基金受取利息	1,000	1,000	0
受取会費	150,000	150,000	0
賛助会員受取会費	150,000	150,000	0
賛助会員受取会費	150,000	150,000	0
事業収益	33,790,000	23,674,000	10,116,000
指定事業収益	24,094,000	14,457,000	9,637,000
参加者負担金収益	9,213,000	5,765,000	3,448,000
施設使用料収益	14,881,000	8,692,000	6,189,000
自主事業収益	8,396,000	7,917,000	479,000
参加者負担金収益	3,513,000	3,157,000	356,000
商品売上収益	3,563,000	3,231,000	332,000
手数料収益	1,320,000	1,529,000	△209,000
補助事業活動収益	1,300,000	1,300,000	0
受取補助金等	387,808,000	437,012,000	△49,204,000
受取県補助金等	32,785,000	34,503,000	△1,718,000
受取県補助金	32,785,000	33,803,000	△1,018,000
受取県負担・分担金	0	700,000	△700,000
受取市補助金等	18,420,000	18,420,000	0
受取市負担・分担金	18,420,000	18,420,000	0
受取その他補助金等	310,000	707,000	△397,000
受取その他補助金	280,000	627,000	△347,000
受取その他負担・分担金	30,000	80,000	△50,000
県受託収益	332,403,000	378,537,000	△46,134,000
指定管理料収益	330,903,000	283,780,000	47,123,000
その他受託収益	1,500,000	94,757,000	△93,257,000

## 収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
市受託収益	150,000	172,000	△22,000
その他受託収益	150,000	172,000	△22,000
その他受託収益	3,740,000	4,673,000	△933,000
受取寄附金	1,000	30,000	△29,000
受取森づくり基金寄附金	1,000	30,000	△29,000
雑収益	1,683,000	2,313,000	△630,000
雑収益	1,683,000	2,313,000	△630,000
経常収益計	424,783,000	464,530,000	△39,747,000
(2)経常費用			
事業費	414,721,000	461,528,000	△46,807,000
報酬	45,532,000	42,841,000	2,691,000
非常勤嘱託職員報酬	45,532,000	42,841,000	2,691,000
給料手当	78,238,000	82,440,000	△4,202,000
給料手当	69,892,000	74,312,000	△4,420,000
給料手当支出 (会計年度任用職員)	8,346,000	8,128,000	218,000
給料手当支出 (会計年度任用職員)	8,346,000	8,128,000	218,000
福利厚生費	26,690,000	26,593,000	97,000
法定福利費	26,086,200	25,988,000	98,200
その他福利厚生費	603,800	605,000	△1,200
賃金	11,778,000	8,881,000	2,897,000
諸謝金	7,886,000	3,953,000	3,933,000
講師謝金	2,769,000	2,214,000	555,000
その他謝金	5,117,000	1,739,000	3,378,000
旅費交通費	5,660,000	5,874,000	△214,000
通勤旅費交通費	3,246,000	3,817,000	△571,000
役員・職員旅費交通費	911,000	726,000	185,000
講師旅費交通費	671,000	510,000	161,000
その他旅費交通費	832,000	821,000	11,000
消耗品費	12,229,000	14,834,000	△2,605,000
燃料費	2,029,000	1,485,000	544,000
会議費	282,000	186,000	96,000
印刷製本費	2,387,000	2,855,000	△468,000
光熱水費	20,839,000	19,948,000	891,000



## 収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
修繕費	8,242,000	15,354,000	△7,112,000
商品仕入費	1,300,000	1,650,000	△350,000
通信運搬費	2,875,000	2,962,000	△87,000
広告料	1,649,000	919,000	730,000
手数料	2,978,000	2,752,000	226,000
保険料	1,935,000	1,766,000	169,000
自動車損害保険料	489,000	544,000	△55,000
その他保険料	1,446,000	1,222,000	224,000
委託料	54,503,000	51,676,000	2,827,000
使用料及び賃借料	11,239,000	12,437,000	△1,198,000
会場借上料	1,884,000	1,478,000	406,000
NHK受信料	101,000	100,000	1,000
各種リース料	7,383,000	9,156,000	△1,773,000
その他の使用料及び賃借料	1,871,000	1,703,000	168,000
備品購入費	3,515,000	1,844,000	1,671,000
受入備品購入費	3,515,000	1,566,000	1,949,000
負担・分担金及び補助金	3,889,000	3,525,000	364,000
補助金	900,000	591,000	309,000
負担・分担金	2,989,000	2,934,000	55,000
租税公課費	15,066,000	14,903,000	163,000
消費税	15,000,000	14,824,000	176,000
印紙税	66,000	79,000	△13,000
工事請負費	93,957,000	141,829,000	△47,872,000
雑費	23,000	21,000	2,000
雑費	23,000	21,000	2,000
管理費	13,717,000	13,359,000	358,000
報酬	4,818,000	4,920,000	△102,000
役員報酬	4,818,000	4,920,000	△102,000
給料手当	5,039,000	5,153,000	△114,000
給料手当	5,039,000	5,153,000	△114,000
福利厚生費	1,708,000	1,637,000	71,000
法定福利費	1,681,000	1,610,000	71,000
その他福利厚生費	27,000	27,000	0

## 収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
諸謝金	60,000	70,000	△10,000
その他謝金	60,000	70,000	△10,000
旅費交通費	203,000	184,000	19,000
役員・職員旅費交通費	203,000	184,000	19,000
消耗品費	241,000	71,000	170,000
会議費	4,000	6,000	△2,000
通信運搬費	80,000	65,000	15,000
手数料	435,000	241,000	194,000
保険料	138,000	54,000	84,000
自動車損害保険料	66,000	0	66,000
その他保険料	72,000	54,000	18,000
委託料	480,000	560,000	△80,000
使用料及び賃借料	164,000	98,000	66,000
会場借上料	40,000	50,000	△10,000
その他の使用料及び賃借料	124,000	48,000	76,000
負担・分担金及び補助金	334,000	297,000	37,000
負担・分担金	334,000	297,000	37,000
租税公課費	10,000	2,000	8,000
自動車重量税	5,000	0	5,000
印紙税	5,000	2,000	3,000
雑費	3,000	1,000	2,000
雑費	3,000	1,000	2,000
経常費用計	428,438,000	474,887,000	△46,449,000
当期経常増減額	△3,655,000	△10,357,000	6,702,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,655,000	△10,357,000	6,702,000
一般正味財産期首残高	98,239,299	108,596,299	△10,357,000
一般正味財産期末残高	94,584,299	98,239,299	△3,655,000

## 収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	201,851,029	201,851,029	0
指定正味財産期末残高	201,851,029	201,851,029	0
III 正味財産期末残高	296,435,328	300,090,328	△3,655,000



収支予算書内訳表

会計区分 全体

事業区分  
令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計		合計	
	森林文化（地域づくり）の創造	生活創造活動の支 費	芸術文化の振興	(公益共通)	生活創造活動施設 貸借業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営		内部取引等消去
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	797,000	81,000	0	472,000	0	1,350,000	0	0	0	0	0	1,350,000
基本財産受取利息	797,000	81,000	0	472,000	0	1,350,000	0	0	0	0	0	1,350,000
特定資産運用益	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000
森づくり基金受取利息	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000
受取会費	150,000	0	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	150,000
賛助会員受取会費	150,000	0	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	150,000
事業収益	9,184,000	17,389,000	725,000	170,000	0	27,468,000	6,122,000	200,000	6,322,000	0	0	33,790,000
指定事業収益	4,557,000	16,664,000	725,000	170,000	0	22,116,000	1,778,000	200,000	1,978,000	0	0	24,094,000
参加者負担金収益	2,543,000	6,600,000	70,000	0	0	9,213,000	0	0	0	0	0	9,213,000
施設使用料収益	2,014,000	10,064,000	655,000	170,000	0	12,903,000	1,778,000	200,000	1,978,000	0	0	14,881,000
自主事業収益	4,002,000	50,000	0	0	0	4,052,000	4,344,000	0	4,344,000	0	0	8,396,000
参加者負担金収益	3,501,000	0	0	0	0	3,501,000	12,000	0	12,000	0	0	3,513,000
商品売上収益	501,000	50,000	0	0	0	551,000	3,012,000	0	3,012,000	0	0	3,563,000
手数料収益	0	0	0	0	0	0	1,320,000	0	1,320,000	0	0	1,320,000
補助事業活動収益	625,000	675,000	0	0	0	1,300,000	0	0	0	0	0	1,300,000
受取補助金等	182,034,000	151,299,000	38,787,000	1,465,000	0	373,585,000	356,000	0	356,000	13,867,000	0	387,808,000
受取県補助金等	25,233,000	5,144,000	1,815,000	578,000	0	32,770,000	0	0	0	15,000	0	32,785,000
受取市補助金等	25,233,000	5,144,000	1,815,000	578,000	0	32,770,000	0	0	0	15,000	0	32,785,000
受取市負担・分担金	4,839,000	120,000	200,000	27,000	0	5,186,000	0	0	0	13,234,000	0	18,420,000
受取その他補助金等	4,839,000	120,000	200,000	27,000	0	5,186,000	0	0	0	13,234,000	0	18,420,000
受取その他補助金	280,000	0	30,000	0	0	310,000	0	0	0	0	0	310,000
受取その他負担・分担金	280,000	0	0	0	0	280,000	0	0	0	0	0	280,000
県受託収益	147,792,000	146,035,000	36,742,000	860,000	0	331,429,000	356,000	0	356,000	618,000	0	332,403,000
指定管理料収益	146,792,000	146,035,000	36,242,000	860,000	0	329,929,000	356,000	0	356,000	618,000	0	330,903,000
その他受託収益	1,000,000	0	500,000	0	0	1,500,000	0	0	0	0	0	1,500,000
市受託収益	150,000	0	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	150,000
その他受託収益	150,000	0	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	150,000
その他受託収益	3,740,000	0	0	0	0	3,740,000	0	0	0	0	0	3,740,000
受取寄附金	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000
受取森づくり基金寄附金	1,000	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	1,000
雑収益	2,006,000	850,000	0	0	0	2,856,000	827,000	0	827,000	0	△2,000,000	1,683,000
雑収益	2,006,000	850,000	0	0	0	2,856,000	827,000	0	827,000	0	△2,000,000	1,683,000
経常収益計	194,173,000	169,619,000	39,512,000	2,107,000	0	405,411,000	7,305,000	200,000	7,505,000	13,867,000	0	424,783,000
(2) 経常費用												
事業費	197,575,000	169,619,000	39,512,000	2,107,000	0	408,813,000	7,305,000	453,000	7,758,000	0	0	416,571,000
報酬	39,580,000	5,833,000	0	0	0	45,413,000	119,000	0	119,000	0	0	45,532,000
非常勤嘱託職員報酬	39,580,000	5,833,000	0	0	0	45,413,000	119,000	0	119,000	0	0	45,532,000

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計		合計
	森林文化(地域づくり)の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	生活創造活動施設 貸借業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営	内部取引	
給料手当	38,946,000	9,897,000	29,177,000	0	0	78,020,000	218,000	0	218,000	0	0	78,238,000
給料手当	38,946,000	5,724,000	25,004,000	0	0	69,674,000	218,000	0	218,000	0	0	69,892,000
給料手当支出(会計年度任用職員)	0	4,173,000	4,173,000	0	0	8,346,000	0	0	0	0	0	8,346,000
給料手当支出(会計年度任用職員)	0	4,173,000	4,173,000	0	0	8,346,000	0	0	0	0	0	8,346,000
福利厚生費	16,021,000	4,625,000	5,951,000	0	0	26,597,000	93,000	0	93,000	0	0	26,690,000
法定福利費	15,529,000	4,575,000	5,889,200	0	0	25,993,200	93,000	0	93,000	0	0	26,086,200
その他福利厚生費	492,000	50,000	61,800	0	0	603,800	0	0	0	0	0	603,800
賃金	11,778,000	0	0	0	0	11,778,000	0	0	0	0	0	11,778,000
諸謝金	5,164,000	1,905,000	632,000	185,000	0	7,886,000	0	0	0	0	0	7,886,000
講師謝金	1,017,000	1,570,000	182,000	0	0	2,769,000	0	0	0	0	0	2,769,000
その他謝金	4,147,000	335,000	450,000	185,000	0	5,117,000	0	0	0	0	0	5,117,000
旅費交通費	4,150,000	937,000	370,000	115,000	0	5,572,000	8,000	80,000	88,000	0	0	5,660,000
通勤旅費交通費	2,595,000	429,000	214,000	0	0	3,238,000	8,000	0	8,000	0	0	3,246,000
役員・職員旅費交通費	508,000	188,000	125,000	10,000	0	831,000	0	80,000	80,000	0	0	911,000
講師旅費交通費	346,000	320,000	5,000	0	0	671,000	0	0	0	0	0	671,000
その他旅費交通費	701,000	0	26,000	105,000	0	832,000	0	0	0	0	0	832,000
消耗品費	8,076,000	2,317,000	81,000	97,000	0	10,571,000	1,539,000	119,000	1,658,000	0	0	12,229,000
燃料費	921,000	1,088,000	0	0	0	2,009,000	20,000	0	20,000	0	0	2,029,000
会議費	158,000	51,000	68,000	5,000	0	282,000	0	0	0	0	0	282,000
印刷製本費	1,443,000	655,000	189,000	100,000	0	2,387,000	0	0	0	0	0	2,387,000
光熱水費	9,235,000	11,228,000	0	0	0	20,463,000	376,000	0	376,000	0	0	20,839,000
修繕費	2,619,000	3,440,000	0	0	0	6,059,000	2,183,000	0	2,183,000	0	0	8,242,000
商品仕入費	0	0	0	0	0	0	1,300,000	0	1,300,000	0	0	1,300,000
通信運搬費	1,779,000	1,007,000	48,000	18,000	0	2,852,000	23,000	0	23,000	0	0	2,875,000
広告料	665,000	778,000	120,000	36,000	0	1,599,000	50,000	0	50,000	0	0	1,649,000
手数料	2,000,000	768,000	11,000	10,000	0	2,789,000	185,000	4,000	189,000	0	0	2,978,000
保険料	1,143,000	782,000	0	0	0	1,925,000	10,000	0	10,000	0	0	1,935,000
自動車損害保険料	281,000	208,000	0	0	0	489,000	0	0	0	0	0	489,000
その他保険料	862,000	574,000	0	0	0	1,436,000	10,000	0	10,000	0	0	1,446,000
委託料	25,384,000	27,154,000	0	1,480,000	0	54,018,000	485,000	0	485,000	0	0	54,503,000
使用料及び賃借料	5,368,000	5,251,000	465,000	61,000	0	11,145,000	94,000	0	94,000	0	0	11,239,000
会場借上料	333,000	1,345,000	200,000	6,000	0	1,884,000	0	0	0	0	0	1,884,000
NHK受信料	36,000	65,000	0	0	0	101,000	0	0	0	0	0	101,000
各種リース料	3,630,000	3,676,000	0	10,000	0	7,316,000	67,000	0	67,000	0	0	7,383,000
その他の使用料及び賃借料	1,369,000	165,000	265,000	45,000	0	1,844,000	27,000	0	27,000	0	0	1,871,000
備品購入費	300,000	3,150,000	0	0	0	3,450,000	65,000	0	65,000	0	0	3,515,000
受入備品購入費	300,000	3,150,000	0	0	0	3,450,000	65,000	0	65,000	0	0	3,515,000
負担・分担金及び補助金	1,199,000	40,000	2,400,000	0	0	3,639,000	0	250,000	250,000	0	0	3,889,000
補助金	210,000	40,000	400,000	0	0	650,000	0	250,000	250,000	0	0	900,000
負担・分担金	989,000	0	2,000,000	0	0	2,989,000	0	0	0	0	0	2,989,000
租税公課費	6,923,000	7,627,000	0	0	0	14,550,000	516,000	0	516,000	0	0	15,066,000
消費税	6,895,000	7,589,000	0	0	0	14,484,000	516,000	0	516,000	0	0	15,000,000
印紙税	28,000	38,000	0	0	0	66,000	0	0	0	0	0	66,000
工事請負費	13,171,000	80,786,000	0	0	0	93,957,000	0	0	0	0	0	93,957,000
雑費	1,552,000	300,000	0	0	0	1,852,000	21,000	0	21,000	0	0	1,873,000
雑費	1,552,000	300,000	0	0	0	1,852,000	21,000	0	21,000	0	0	1,873,000
内部取引等消去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内部取引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
協会運営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	78,238,000	9,897,000	29,177,000	185,000	0	117,597,000	218,000	119,000	119,500	0	0	117,735,500

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計		内部取引等抵消		合計
	森林文化(地域づくり)の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	生活創造活動施設貸借業務	小計	収益事業	その他事業	小計	協会運営	内部取引			
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,867,000	0	0	13,867,000	
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,818,000	0	0	4,818,000	
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,818,000	0	0	4,818,000	
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,039,000	0	0	5,039,000	
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,039,000	0	0	5,039,000	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,708,000	0	0	1,708,000	
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,681,000	0	0	1,681,000	
その他福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,000	0	0	27,000	
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	0	0	60,000	
その他謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	0	0	60,000	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203,000	0	0	203,000	
役員・職員旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203,000	0	0	203,000	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	241,000	0	0	241,000	
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000	0	0	4,000	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000	0	0	80,000	
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	435,000	0	0	435,000	
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,000	0	0	138,000	
自動車損害保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,000	0	0	66,000	
その他保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,000	0	0	72,000	
委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	480,000	0	0	480,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164,000	0	0	164,000	
会場借上料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,000	0	0	40,000	
その他の使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	124,000	0	0	124,000	
負担・分担金及び補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	334,000	0	0	334,000	
負担・分担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	334,000	0	0	334,000	
租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000	
自動車重量税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	0	5,000	
印紙税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	0	5,000	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153,000	△150,000	0	3,000	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153,000	△150,000	0	3,000	
経常費用計	197,575,000	169,619,000	39,512,000	2,107,000	0	408,813,000	7,305,000	453,000	7,758,000	13,867,000	0	0	498,438,000	
当期経常増減額	△3,402,000	0	0	0	0	△3,402,000	0	△253,000	△253,000	0	0	0	△3,655,000	
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	△3,402,000	0	0	0	0	△3,402,000	0	△253,000	△253,000	0	0	0	△3,655,000	
当期一般正味財産増減額	-	-	-	-	-	94,805,992	-	9,093,616	△5,660,309	△5,660,309	0	0	98,239,299	
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	91,403,992	-	8,840,616	△5,660,309	△5,660,309	0	0	94,584,299	
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	201,851,029	-	0	0	0	0	0	201,851,029	
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	201,851,029	-	-	-	0	0	0	201,851,029	
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	201,851,029	-	-	-	0	0	0	201,851,029	
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	293,255,021	-	-	-	△5,660,309	0	0	296,435,328	
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0	0	0	0	





# 収支予算書 (資金ベース)

No. 1

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1 事業活動収入</b>				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	1,350,000	1,350,000	0	
② 特定資産運用収入				
森づくり基金利息収入	1,000	1,000	0	
③ 会費収入				
賛助会員会費収入				
賛助会員会費収入	150,000	150,000	0	
④ 事業収入				
指定事業収入				
参加者負担金収入	9,213,000	5,765,000	3,448,000	
施設使用料収入	14,881,000	8,692,000	6,189,000	
自主事業収入				
参加者負担金収入	3,513,000	3,157,000	356,000	
商品売上収入	3,563,000	3,231,000	332,000	
手数料収入	1,320,000	1,529,000	△209,000	
補助事業活動収入	1,300,000	1,300,000	0	
⑤ 補助金等収入				
県補助金等収入				
県補助金収入	32,785,000	33,803,000	△1,018,000	
県負担・分担金収入	0	700,000	△700,000	
市補助金等収入				
市負担・分担金収入	18,420,000	18,420,000	0	
その他補助金等収入				
その他補助金収入	280,000	627,000	△347,000	
その他負担・分担金収入	30,000	80,000	△50,000	
県受託収入				
指定管理料収入	330,903,000	283,780,000	47,123,000	
その他受託収入	1,500,000	94,757,000	△93,257,000	
市受託収入				
その他受託収入	150,000	172,000	△22,000	
その他受託収入	3,740,000	4,673,000	△933,000	
⑥ 寄附金収入				
森づくり基金寄附金収入	1,000	30,000	△29,000	

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 2

会計区分 全体

事業名 全体  
事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
⑦ 雑収入				
雑収入	1,683,000	2,313,000	△630,000	
事業活動収入計	424,783,000	464,530,000	△39,747,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
報酬支出				
非常勤嘱託職員報酬	45,532,000	44,641,000	891,000	
給料手当支出				
給料手当支出	69,892,000	71,822,000	△1,930,000	
給料手当支出 (会計年度任用職員)				
給料手当支出 (会計年度任用職員)	8,346,000	8,128,000	218,000	
福利厚生費支出				
法定福利費支出	26,086,200	25,938,000	148,200	
その他福利厚生費支出	603,800	602,000	1,800	
賃金支出	11,778,000	8,881,000	2,897,000	
諸謝金支出				
講師謝金支出	2,769,000	2,377,000	392,000	
その他謝金支出	5,117,000	1,745,000	3,372,000	
旅費交通費支出				
通勤旅費交通費支出	3,246,000	3,817,000	△571,000	
役員・職員旅費交通費支出	911,000	1,016,000	△105,000	
講師旅費交通費支出	671,000	611,000	60,000	
その他旅費交通費支出	832,000	946,000	△114,000	
消耗品費支出	12,229,000	15,254,000	△3,025,000	
燃料費支出	2,029,000	1,465,000	564,000	
会議費支出	282,000	188,000	94,000	
印刷製本費支出	2,387,000	2,798,000	△411,000	
光熱水費支出	20,839,000	19,878,000	961,000	
修繕費支出	8,242,000	15,323,000	△7,081,000	
商品仕入費支出	1,300,000	1,650,000	△350,000	
通信運搬費支出	2,875,000	2,968,000	△93,000	
広告料支出	1,649,000	941,000	708,000	
手数料支出	2,978,000	2,788,000	190,000	
保険料支出				
自動車損害保険料支出	489,000	544,000	△55,000	

# 収支予算書（資金ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
その他保険料支出	1,446,000	1,325,000	121,000	
委託料支出	54,503,000	50,870,000	3,633,000	
使用料及び賃借料支出				
会場借上料支出	1,884,000	1,456,000	428,000	
NHK受信料支出	101,000	100,000	1,000	
各種リース料支出	7,383,000	9,155,000	△1,772,000	
その他の使用料及び賃借料支出	1,871,000	2,024,000	△153,000	
備品購入費支出				
受入備品購入費支出	3,515,000	1,566,000	1,949,000	
その他備品購入費支出	0	278,000	△278,000	
負担・分担金及び補助金支出				
補助金支出	900,000	591,000	309,000	
負担・分担金支出	2,989,000	2,934,000	55,000	
租税公課費支出				
消費税支出	15,000,000	14,823,000	177,000	
印紙税支出	66,000	130,000	△64,000	
工事請負費支出	93,957,000	141,829,000	△47,872,000	
雑支出				
雑支出	23,000	126,000	△103,000	
② 管理費支出				
報酬支出				
役員報酬支出	4,818,000	4,920,000	△102,000	
給料手当支出				
給料手当支出	5,039,000	5,153,000	△114,000	
福利厚生費支出				
法定福利費支出	1,681,000	1,610,000	71,000	
その他福利厚生費支出	27,000	27,000	0	
諸謝金支出				
その他謝金支出	60,000	70,000	△10,000	
旅費交通費支出				
役員・職員旅費交通費支出	203,000	184,000	19,000	
消耗品費支出	241,000	91,000	150,000	
会議費支出	4,000	6,000	△2,000	
通信運搬費支出	80,000	91,000	△11,000	
手数料支出	435,000	241,000	194,000	

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 4

会計区分 全体

事業名 全体  
事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
保険料支出				
自動車損害保険料支出	66,000	0	66,000	
その他保険料支出	72,000	54,000	18,000	
委託料支出	480,000	484,000	△4,000	
使用料及び賃借料支出				
会場借上料支出	40,000	50,000	△10,000	
その他の使用料及び賃借料支出	124,000	48,000	76,000	
負担・分担金及び補助金支出				
負担・分担金支出	334,000	327,000	7,000	
租税公課費支出				
自動車重量税支出	5,000	0	5,000	
印紙税支出	5,000	3,000	2,000	
雑支出				
雑支出	3,000	0	3,000	
事業活動支出計	428,438,000	474,887,000	△46,449,000	
事業活動収支差額	△3,655,000	△10,357,000	6,702,000	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
丹波の森公苑修繕準備金取崩収入	0	2,772,800	△2,772,800	
② 基金取崩収入				
期間基金取崩収入	250,000	0	250,000	
投資活動収入計	250,000	2,772,800	△2,522,800	
2 投資活動支出				
① 基金取得支出				
期間基金積立金支出	1,000	0	1,000	
一般募金積立金支出	2,000	31,000	△29,000	
投資活動支出計	3,000	31,000	△28,000	
投資活動収支差額	247,000	2,741,800	△2,494,800	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 5

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
当期収支差額	△3,408,000	△7,615,200	4,207,200	
前期繰越収支差額	22,118,508	29,733,708	△7,615,200	
次期繰越収支差額	18,710,508	22,118,508	△3,408,000	